

昭和 29 年度				昭和 30 年度				昭和 31 年度			
一年入学予定 児童数	幼稚園収容 幼児数	保育園収容 幼児数	保育施設収容 幼児数 %	一年入学予定 児童数	幼稚園収容 幼児数	保育園収容 幼児数	保育施設収容 幼児数 %	一年入学予定 児童数	幼稚園収容 幼児数	保育園収容 幼児数	保育施設収容 幼児数 %
(20) 6297	(9) 1500	(18) 1467	47.12 %	(20) 6234	(10) 1570	(18) 1467	48.72 %	(20) 6388	(10) 1650	(18) 1467	48.79 %

※ 人数の上の()内は施設数です。第三表28年10月の調査による。公立(1)のみです。

※幼児教育の立場から

幼児教育の必要性が認識せられ、この二三年前より、実行期に入っております。第三表にて読まれる如く、保育施設数が少いので、競争率の上げしいことは此の道の先生方には、想像して戴けるものと存じます。

公立函館幼稚園の場合

①入園許可数 ②受付方法 ③競争率
 ・定員に達した場合は中止
 ・此処二、三年は受付開始より一時間内にして定員に達している現状です。

④問題点

・地域的に見て
 幼稚園に近い地域より通園するのが、幼児のために安全であるのでそれを願っているのですが、通園区域が全市的に拡がる傾向にあります。

・社会層から見ても
 結果的に見て、経済上恵まれた家庭が主

体をなしている感ありです。

・幼児教育の立場から
 幼児教育の義務制を念願している私共は特殊教育的傾向にはしまいかと、恐れています。

(函館幼稚園)

福島県の状況

玉川喜代子

「幼稚園も狭き門、若松およそ二倍半」と云うみだしで、二月五日附の「福島民友」紙上に受付風景が写真入りで、トップ記事として、報道されましたが、この事は独り若松だけの問題でなく、正に全国的な、重大問題として考慮されるべきものと思えます。

文部省が、十年後には、全員収容の見込みとラジオで放送されましたが、一刻も早い、解決策をと、いとけない幼児の代弁者となつて切に念願する次第でございます。

我が会津若松市には七ヶ所の幼稚園(全部私立)があり、その入園状態は、

会津幼稚園	行仁幼稚園	聖愛幼稚園	サベリア学園 附属幼稚園	若松第一幼稚園	若松第二幼稚園	若松第三幼稚園	合計
定員	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
一二〇名	一二〇名	六〇名	三一〇名	一七五名	一四〇名	一〇〇名	九二五名
募集人員	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
一〇〇名	一〇〇名	六〇名	二四〇名	一三〇名	一〇〇名	八〇名	八一〇名

△

これに対し、本年度満五才になる幼児数は旧市内丈で、約一、七〇〇名、内入園希望者は一、二〇〇名、外に四才児で、五〇〇名もあり、入園できるのが八一〇名と限られて居ります故に、二月一日受付開始となりますと一日で、補欠まで、満員となる状態でございますので、入園できない方々の中には、「親子兄弟十二人もお世話になって十三人目の末っ子が、入園出来ない」と云う方はない」と凄む方、「どここの隅っこでも」と泣きどく方有力者を頼んで、おいでの方々など、親の愛

立では福島市立の九園と、私幼では、郡山市のマリヤ幼稚園一園丈でございます。中にも福島市立第一幼稚園(園長木村ふさ)の場合は、昨年度(本年度この稿まで不明)五三〇名の希望者に対し、定員一八八名のため、身体検査、面接、テスト、の後、身体障害者、精神薄弱児、極端な内向性若しくは外向性の幼児を不合格としたとの事でございます。又抽籤による所、常磐市立吹矢幼稚園がそれであつて、嬉しいお便りは喜多方市立の三六〇名の定員に対し、四〇三名の希望者のため、二室増築して、全員収容されると云うお話でございますが、かつて一園二百人まで

情に、涙なしでは居られません。

△

更に我が福島県下を見渡しますと、公立一九、私立(分園十二ヶ所を加えて)五二、ありますが、その殆んどが、申込順で、テストを行つて居る所は、公

と設置基準にありました通り、神経系統の整わぬ幼児が、余りにも大勢の生活に堪え得るかどうか、堀り下げて考える時に、又しても大きななやみにおつつかるわけでございます。

△

昨年別府で、全国私立幼稚園の大会がありました時、この入園希望者対策につき、問題として提出いたしました。そして皆様から、いろいろとお伺いいたしました。誠に今昔の感に堪えないものがございますのは、今より十年二十年前は、文字通り、園児を、募集して、居りました、又幼稚園に送る保護者も、お金を使うからとか、うるさいから、といったものも相当ありましたが、この両三年は、保護者の方々が、社会性を養つて貰いたいから、と云う工合で、参観に見えても我が子がどう事なによく、お友達と遊んでいるか、と云う事をまづ見られるようになりました。こう云う事は幼児教育に対し理解され、真剣になって来られた事を意味するもので、ラジオ、新聞、雑誌なども、之に対して、大きな役割を果されたと思ひます。従つて幼稚園と云う場所が大きく取り扱わ

れるようになった事は、喜びに堪えない事
 がございますが、その意味に於ても、幼稚園側
 もよく自覚し、研究し、以て受入態制の準備
 を十分にすべきで、ございます。

そして私は、テスト、抽籤を行わずに申込
 みに応じて一人も残らず入園でき、大手を拡
 げて、幼稚園生活を夢見るいとしい幼児を、
 迎えたい、そうした世の中の早く来る事を、
 重ねて、幼児に代って、深く深く念願いたし
 ます次第でございます。

(若松幼稚園)

新潟県の状況

長谷川増吉

本県も近年入園志願者の増加するのに対し
 その施設が伴わず、困難しているのが実状で
 す、次に県下の主な幼稚園の状況をお知らせ
 します。

一、入園志願者と入園許可者数

園名	二十八年年度	二十九年年度	三十年年度	選抜の方法
	志願者数 入園者数	志願者数 入園者数	志願者数 入園者数	
新大附属幼稚園	八二 三五	八二 三八	六〇 三五	身体検査と精神検査の結果、不 適格者を除き、抽籤によつて入 園者を決定した。
新潟市立沼垂幼稚園	三九四 一六八	四一 二八一	三二五 一八〇	
村松町立幼稚園	二八五 二八五	三一 九三	〇〇 三〇〇	身体検査と精神検査の結果、不 適格者を除き、その他全員入園許 可した。
高田市立幼稚園	二九八 二八一	三三 三三〇	九三四 二二三八	
備考	三十年度は見込数			同右

備考 三十年度は見込数

高田市

二、この実状に対する対策として、次のよう
 なことが行われています。

- 1、幼児教育の必要に対する一般市民の認
 識と、文部省の振興策とが相まって公私
 立幼稚園の新設を見るに到った。
- 2、既設の園舎の増改築を行つて、収容力
 を増加するようにしている。
- 3、幼稚園教育を小学校就学前一年の幼児
 のみに限り募集し、少しでも多くの者に
 この教育の機会を与えるようにしている

4、一組の幼児数を増加したため、保育に
 困難している所もある。

新発田市、高田市

三、根本的には次のようなことを実現するよ
 うにして、幼稚園施設の拡充につとめるこ
 とが必要で。

- 1、市町村合併によつて今までの市街地帯
 と農業地帯とが一つになったので従来の
 小学校通学区を再編成して、市街地の小
 学校々舎に余裕を持たせ、ここに幼稚園
 を併設する。
- 2、市町村立学校教員給与負担法を改正し